

# 東日本大震災の教訓と未来への展望

1. 我々は備え以上のことはできませんでした。
2. 事前防災（取組）は確実に被害を軽減できますが、ゼロにはできません
3. 危機管理と対応計画は、最悪のシナリオに基づいている必要があります。
4. 不確実な状況下での判断と対応が必要
5. 今後、未来へ教訓を伝えること
6. レジリエント社会（回復力）構築していくこと

# 東日本大震災の教訓(1)

- 我々は備え以上のことはできませんでした。
- 出来た備え；
  - 耐震化，自治体・関係機関協定（有効）⇒啓開，緊急支援，復旧活動，防災訓練（一定の備蓄）
- 出来なかった備え；
  - 津波避難，複合災害対応，帰宅困難者，大規模捜索・ご遺体対応，避難所（運営）
  - 安心・安全なまちづくり⇒安心すぎると防災意識の低下（バイアス）

# 東日本大震災の教訓(2)

- 事前防災(取組)は確実に被害を軽減できますが、ゼロにはできません
- **社会基盤やインフラ**; 仙台東部道路(盛り土構造, 緊急避難場所), 三陸自動車道(2次避難), 東北自動車道(復旧の要)
- **グリーンインフラ**; 防潮林の減災効果のあった地域もありました
- 学校での避難; 建物内(学校内)で無事であった事例もあれば, 犠牲者を出した事例もありました.
- なお, 学校で安全な避難が出来た事例の共通項目としては, 事前の訓練, 教職員間での対応確認, 地元との連携などが挙げられます.

# 東日本大震災の教訓(3)

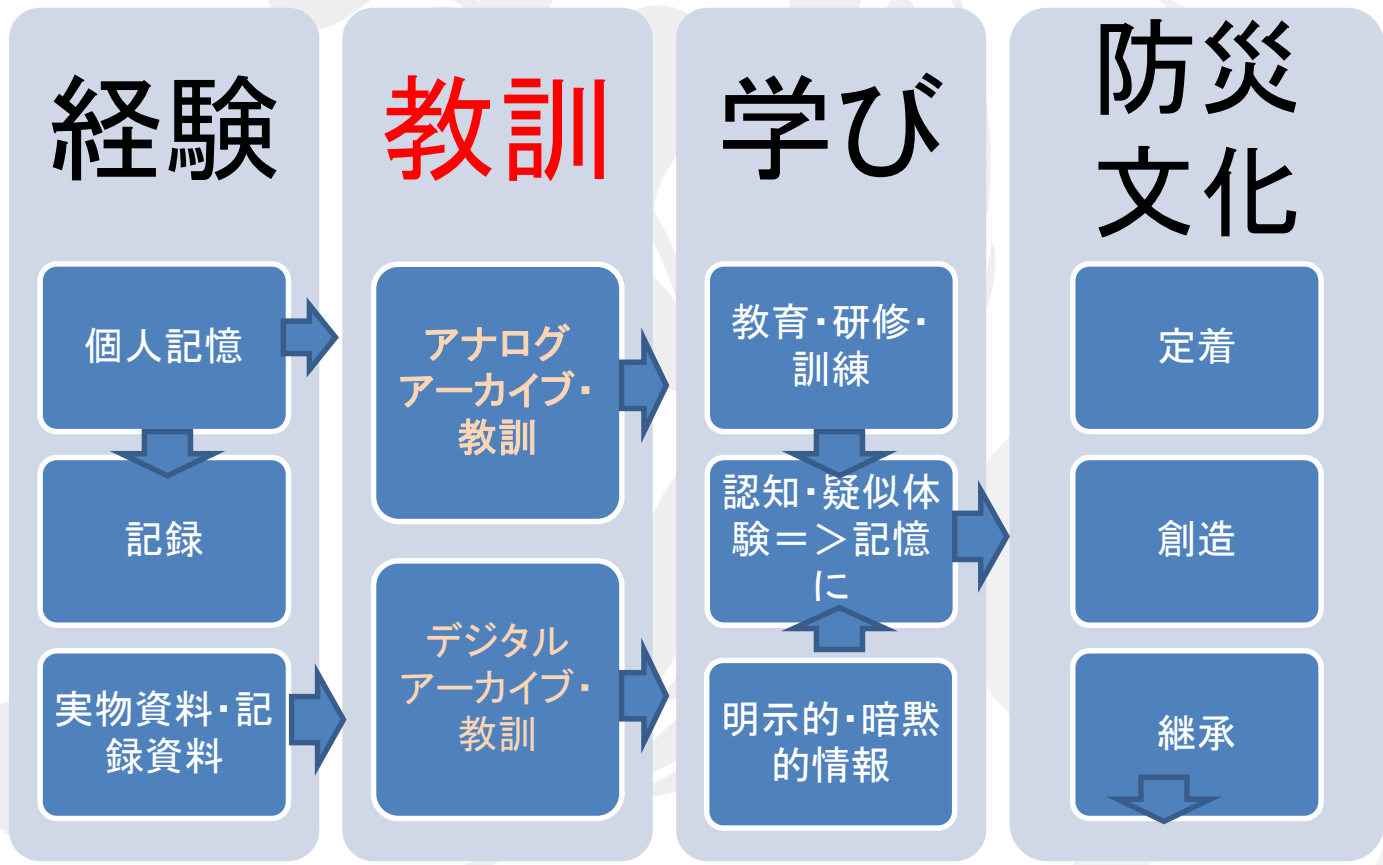
- 危機管理と対応計画は、最悪のシナリオに基づいている必要があります。
  - 防災計画； 中央防災会議専門委員会一日本海溝・千島海溝型地震に関する，平成18年1月，各県での地震等の被害想定と対策，第2次みやぎ震災対策アクションプラン(平成21年3月)
  - 巨大地震； 3分強震が継続，余震活動は現在も
  - 巨大津波； 1.5日津波警報などが解除できず．黒い津波・漂流物，河川津波，長期浸水，
  - 福島原発； 連鎖災害
  - 行政機能が被災すると，対応に大幅の遅れが生じる

# 東日本大震災の教訓(4)

- 不確実な状況下での判断と対応が必要
  - 津波警報の修正
  - 福島原発事故の経緯
  - 混乱の中での復旧・復興計画
  - 被災地から住民の流出
  
  - 他自治体, 民間団体, 企業, 海外からの支援
  - 定着人口 + 交流人口, 関係人口, 関心人口
  - 震災復興経験者の連鎖構造
  - 新しい産業創出の可能性は？

# 未来への展望(1)

記録された記憶をもう一度、記憶と再生(自分事に)



# 未来への展望(2)

- 今後、レジリエント社会(回復力)構築が必要
  - 事前防災 ー強靱性+しなやかさ
  - 復旧 ー元に戻す 悲しみの中からの回復と快復(マインド)
  - 復興 ー反発力, 弾性(人と社会, ビジョン, マインド)
  - 事前復興計画の重要性